

日本の教育とウェルビーイングの
未来を考えるシンポジウムシリーズ
第46回

PISAデータと
最新ウェルビーイング研究



世界中の人を
一人残らず幸せにする

自己紹介：太田 フレディ



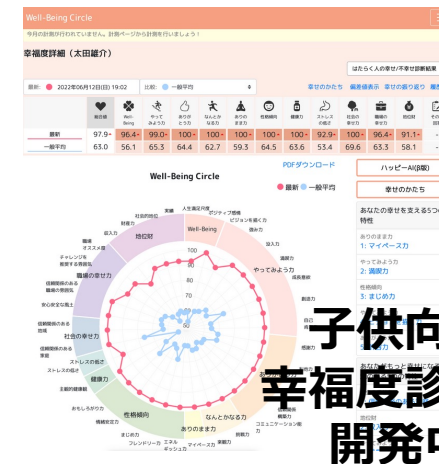
株式会社はぴテック CEO 兼 CHO(ハピネス)
一般社団法人Well-Being Design
武蔵野大学 しあわせ研究所 客員研究員
ベネッセ高等学院 ウェルビーイング研究部 コーチ

chatGPTベースのハッピーAI入り
Well-Beingを高める
3つの良かったこと
日記アプリ
はぴトレ
・ from 2018 ・ 40万件以上の投稿
・ 約5年、毎日継続している方も



100万件超の
良かったこと

幸福度診断 Well-Being Circle



子供向け
幸福度診断も
開発中

50万件超の診断
25万人超のユーザー
約250社で導入

Facebookグループ ウェルビーイング



ウェルビーイング
研究まとめ
サイトにも

教育についてのレポートや研究整理

日本の教育とWBの未来を考える シンポジウム

■ 資料

太田_日本の教育とウェルビーイングの未来を考えるシンポジウム資料

<https://drive.google.com/drive/folders/1fuej89i8GF-2dSMEPjXNnP7dHq7z80Nh?usp=sharing>

2025/5、2023/12

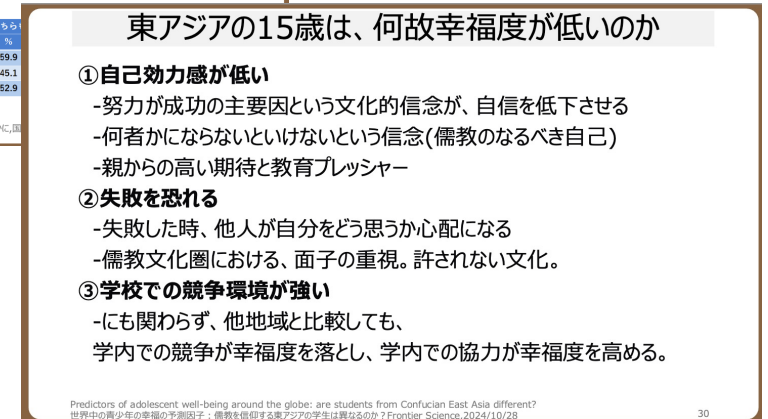
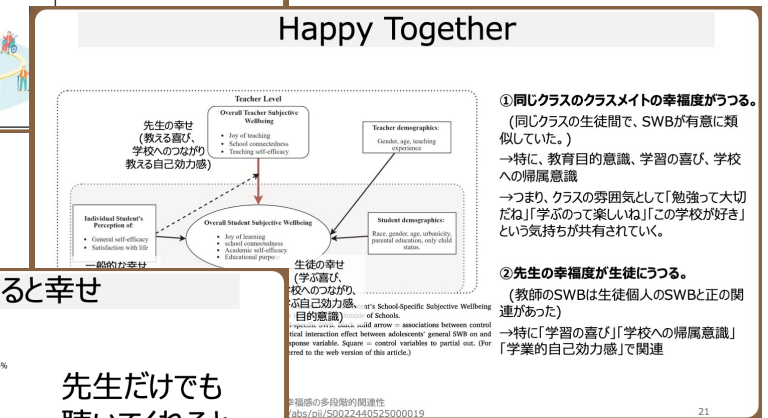
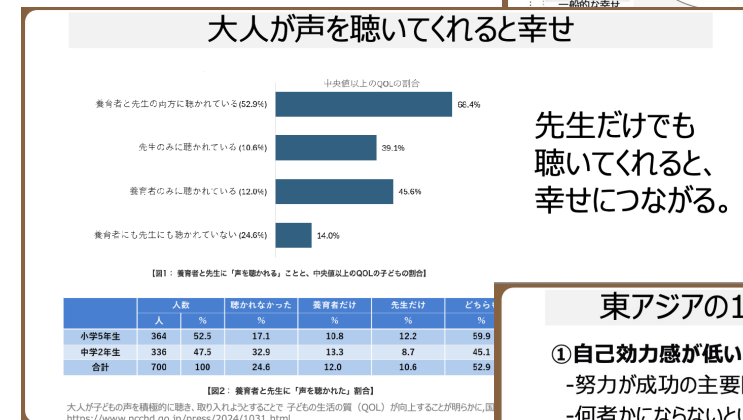
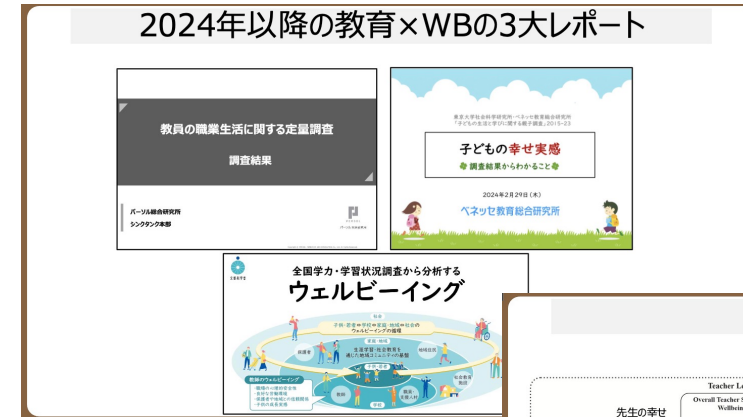
■ 動画

第16回日本の教育とウェルビーイングの未来を考えるシンポジウム 2023/12

<https://www.youtube.com/watch?v=-RWIL6pvLus>

第34回日本の教育とウェルビーイングの未来を考えるシンポジウム 2025/5

<https://youtu.be/ZdCbXRNVbFU>



中高校生向けウェルビーイング講座

ウェルビーイング研究部 講座資料

■ 資料

第1回

アリとキリギリスはどっちが“しあわせ”なんだろう？
～ハッピーとウェルビーイング～

第1回_補講：ネガティブ感情から得られるものは？

第2回：ウェルビーイングって何だろう？

第3回：ウェルビーイングに大切な幸せの4つの因子

第4回：やってみよう因子

第5回：ありがとう因子

第6回：なんとかなる因子

第7回：ありのままに因子

<https://drive.google.com/drive/folders/1vUG2LsP2rqWMSwoD3VNmKUQ3HHYpn8f-?usp=sharing>

しあわせには2種類ある

ハッピー(Happy)

短いしあわせ
感情的
(ヘドニア)

瞬間的な快樂
(やったー、楽しいなー
嬉しいなー、など)

ウェルビーイング(Well-Being)

長く続くしあわせ
認知的
(ユーダイモニア)

人生の満ち足りた状態
(良き良き)

WBにつながるハッピー
つながらないハッピーもある

3大幸福論、「アランの幸福論」より

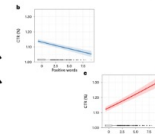
悲観は気分 楽観は意志

が向いてしまう。
意志が必要。



さらに、人はネガティブな所に目が向きがち

Web上での570万回のクリックを検証した所、
ネガティブワードが1語ある毎に2.3%クリック率向上、
ポジティブワードが1語ある毎に1.0%クリック率低下、
(Robertson et al., 2023)



だからこそ、ポジティブ増やすのが大切。

結婚生活を

良好な人間関係(カップル)を
ネガティブなやりとりが1に
ポジティブなやりとりが5必要。(Gottman)

幸せな人は、ネガティブ1
ポジティブが1～3以上
(Fredrickson & Losoya, 2005; Brown et al., 2010)

ヒーローズ・ジャーニー

神話学者ジョセフ・キャンベルさんが
数々の神話を整理した結果、
発見した共通した一連の流れ。
スターウォーズなど、多くの映画などでも
取り入れられている。

この流れに、自分の人生を当てはめて
人生の意義を見出す、というワークもある。
(世界を救うなど、壮大でなくてもOK。
勉強を頑張る、挨拶をする、一歩行動する
というも、君にとってのヒーローズジャーニー)

- ① 旅立ち
- ② 困難の始まり
- ③ 仲間や師との出会い
- ④ 敵との遭遇
- ⑤ 挑戦と成長
- ⑥ 困難を乗り越える
- ⑦ 日常に戻る

英雄の旅



Rogers, Ben & Chicas et al., Dan & Gray, Kurt. (2023). Seeing Your Life Story as a Hero's Journey Increases Meaning in Life. *Journal of Personality and Social Psychology*.

Agenda

①最新PISA2025データ

②ここ1年での教育×ウェルビーイング研究

最新PISA2025データ

PISA 2025 とは？

■ PISA2025 調査の基本情報

- ・実施主体：OECD（経済協力開発機構）／結果公表：2026年9月8日（Volume I）
- ・参加：91か国・地域、約76万人の15歳
- ・調査方式：オンラインによるCBT（コンピュータ使用型調査）
- ・日本の実施時期：2025年6月～8月(3年おきに実施)
- ・中心分野：科学的リテラシー（数学・読解も実施）

■ 調査対象（誰を測ったか）

- ・国際定義：調査時点で15歳3か月～16歳2か月の学校在学者（7学年以上）
- ・日本では「高等学校等の1年生」が対象（義務教育修了段階の15歳）
- ・日本のサンプル：国際的な規定に基づき抽出された183校・約6,500人（公開データ上6,554人）
- ・学校→生徒の2段階無作為抽出。生徒ウェイトで全国の15歳在学者を代表するよう設計

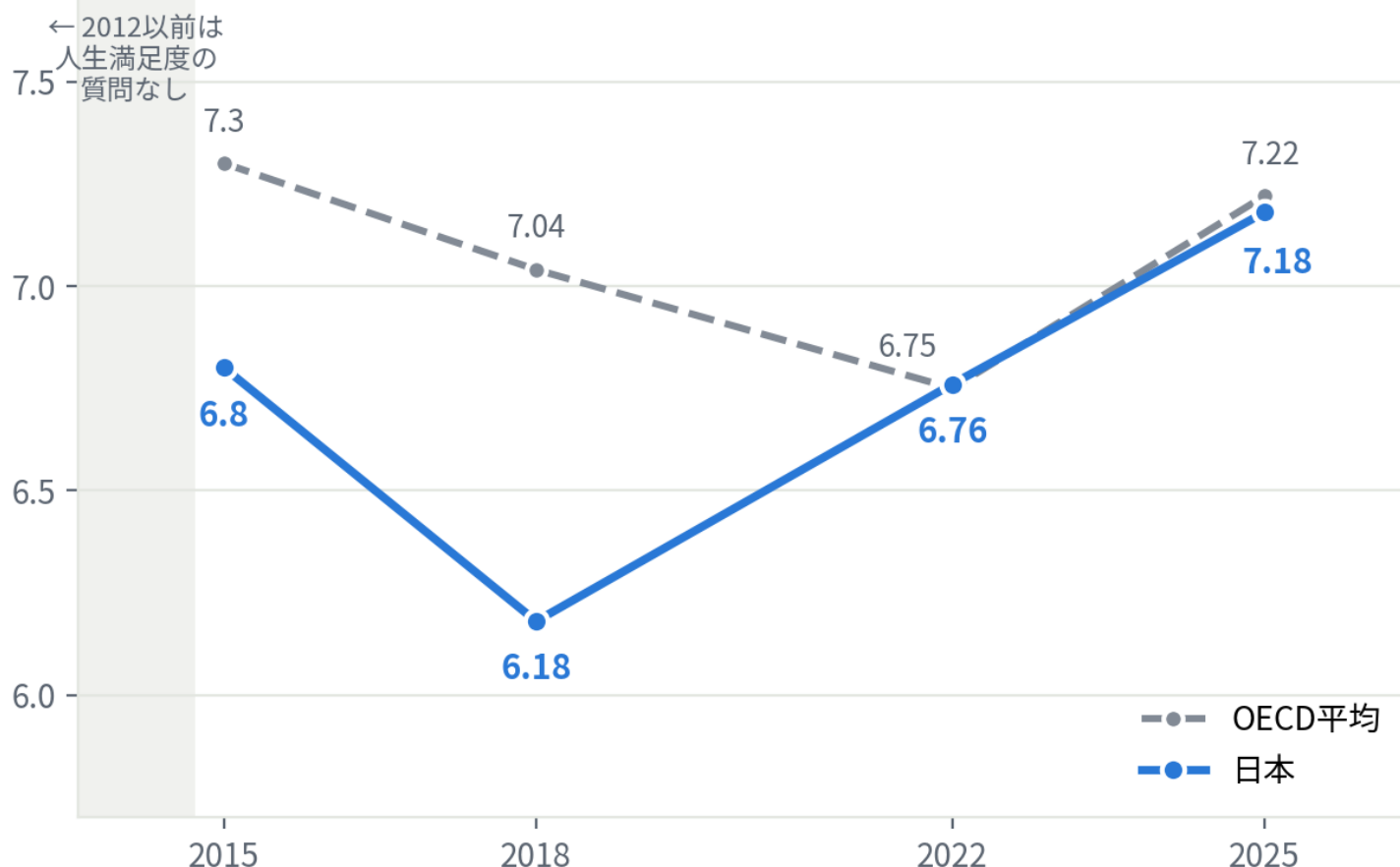
■ ウェルビーイングの測り方

- ・テストと同日に、同じ生徒が生徒質問紙（約35分）に回答
- ・人生満足度：「最近の生活全体にどのくらい満足しているか」0～10の11段階・1問(2015から調査開始)
- ・所属感（6問）・いじめ被害（5問）・家庭サポート（5問）等は複数質問をOECDが指数化（国際平均0・標準偏差1）
- ・注意：日本は一部モジュール未実施（学校での安全感、ICT資源、保護者質問紙）

※3年おきにメインテーマが、数学的リテラシー → 読解力 → 科学的リテラシーに移っていく。2025は科学的リテラシー。

日本の幸福度がめっちゃ伸びた！

人生満足度の平均（0～10）



● 2018→2025の人生満足度(幸福度)変化

1位：日本 6.18 → 7.18 (+1.00)

2位：マカオ 6.07 → 6.70 (+0.63)

3位：フィリピン 7.21 → 7.82 (+0.61)

4位：トルコ 5.62 → 6.23 (+0.61)

5位：ブラジル 7.05 → 7.63 (+0.58)

6位：英国 6.16 → 6.73 (+0.57)

7位：インドネシア 7.47 → 8.01 (+0.54)

8位：中国4省市 6.64 → 7.15 (+0.51)

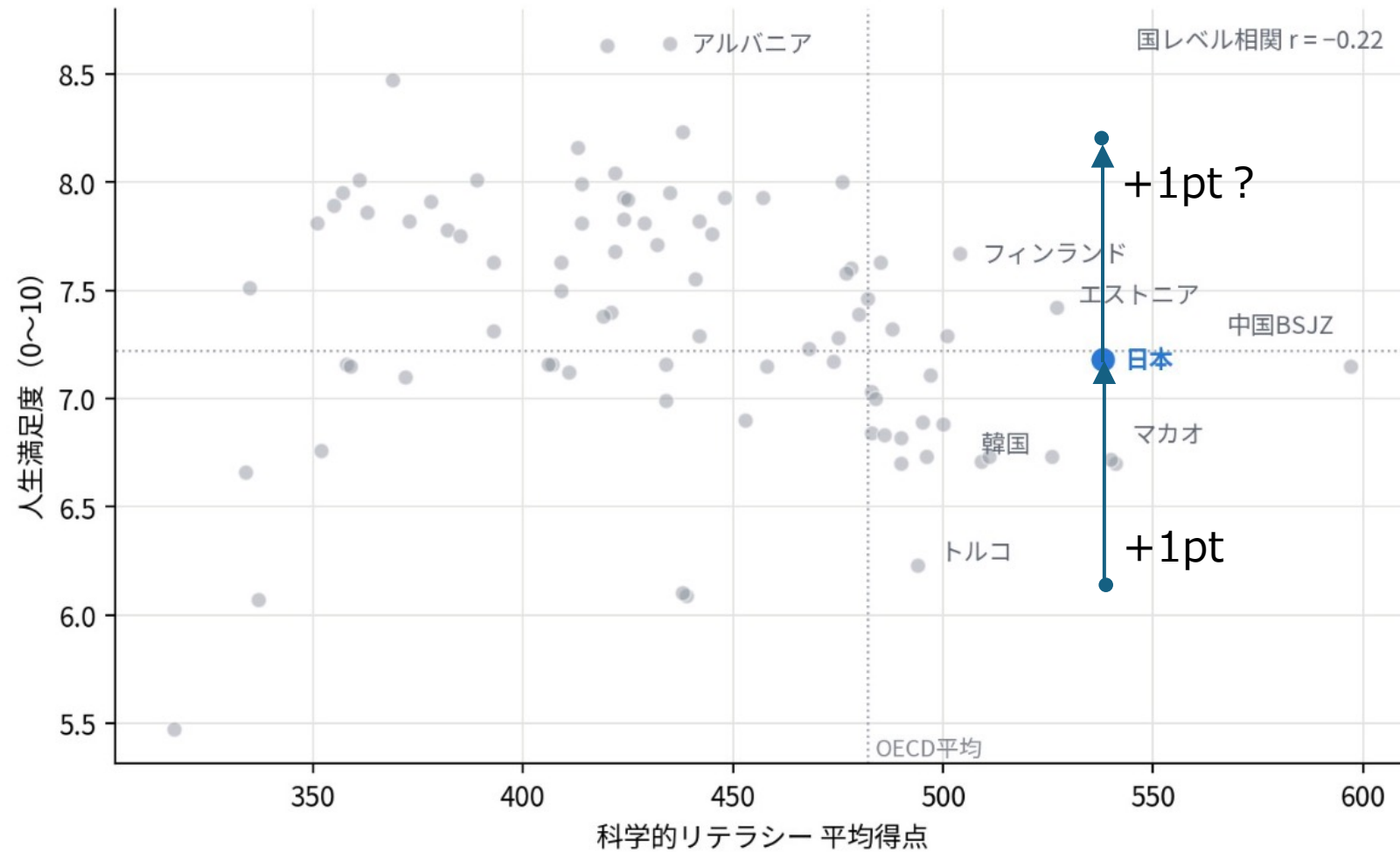
9位：香港 6.27 → 6.73 (+0.46)

10位：ベトナム 7.47 → 7.93 (+0.46)

OECD平均変化 7.04 → 7.22 (+0.18)

※両データが存在した63カ国中

幸福度×学力(科学的リテラシー)



右下から右上に入り出している

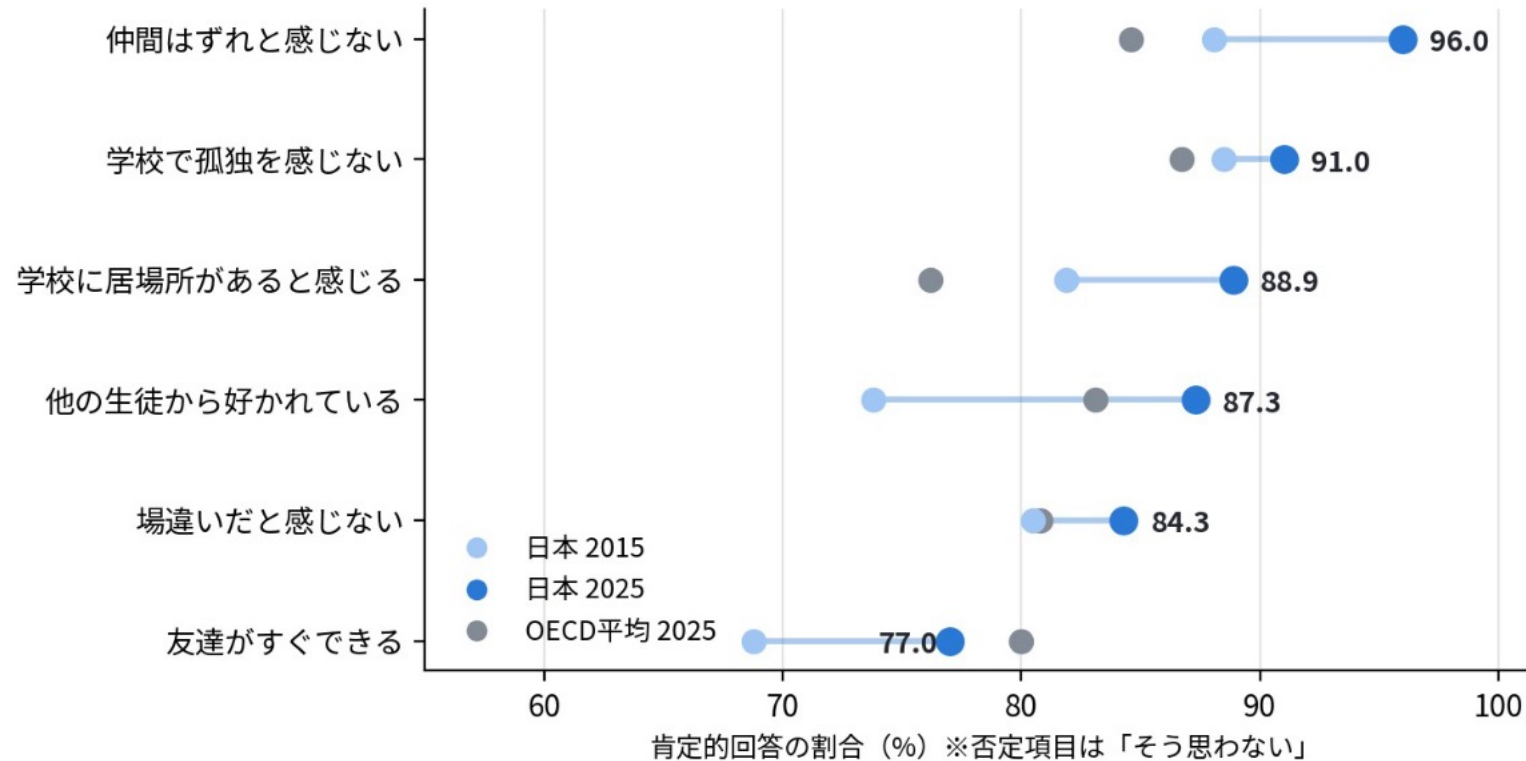
これまで日本は、
学力は高いが不幸せな子どもたち
という印象だったが、

今では、
学力が高くて適度に幸せ。

このペースで高まると、
6年後には、
学力高くて幸せな子どもたち
に！

図3 科学的リテラシー平均得点×人生満足度（85 か国・地域）。出典：PISA 2025 Database Tables I.B1.2a.1・I.B1.3.79（相関は国レベルで算出）

つながり、も育ってきている



つながり(学校への所属感指数)
85カ国中、6位。

6項目中5項目で大幅に向上。
全てOECD平均を上回る。

残りの一つ、
能動的な関係形成である
「友達がすぐできる」も、
OECD平均程度まで向上。

図2 学校への所属感（項目別）：日本の2015→2025年の変化とOECD平均。出典：PISA 2025 Database Table I.B1.3.64

**日本の子どもたちの
生活満足度(幸福度)が
世界一伸びている！**

**ブレイクアウトルームに
分かれて、対話しながら、
お祝いしましょう！**

STEP1

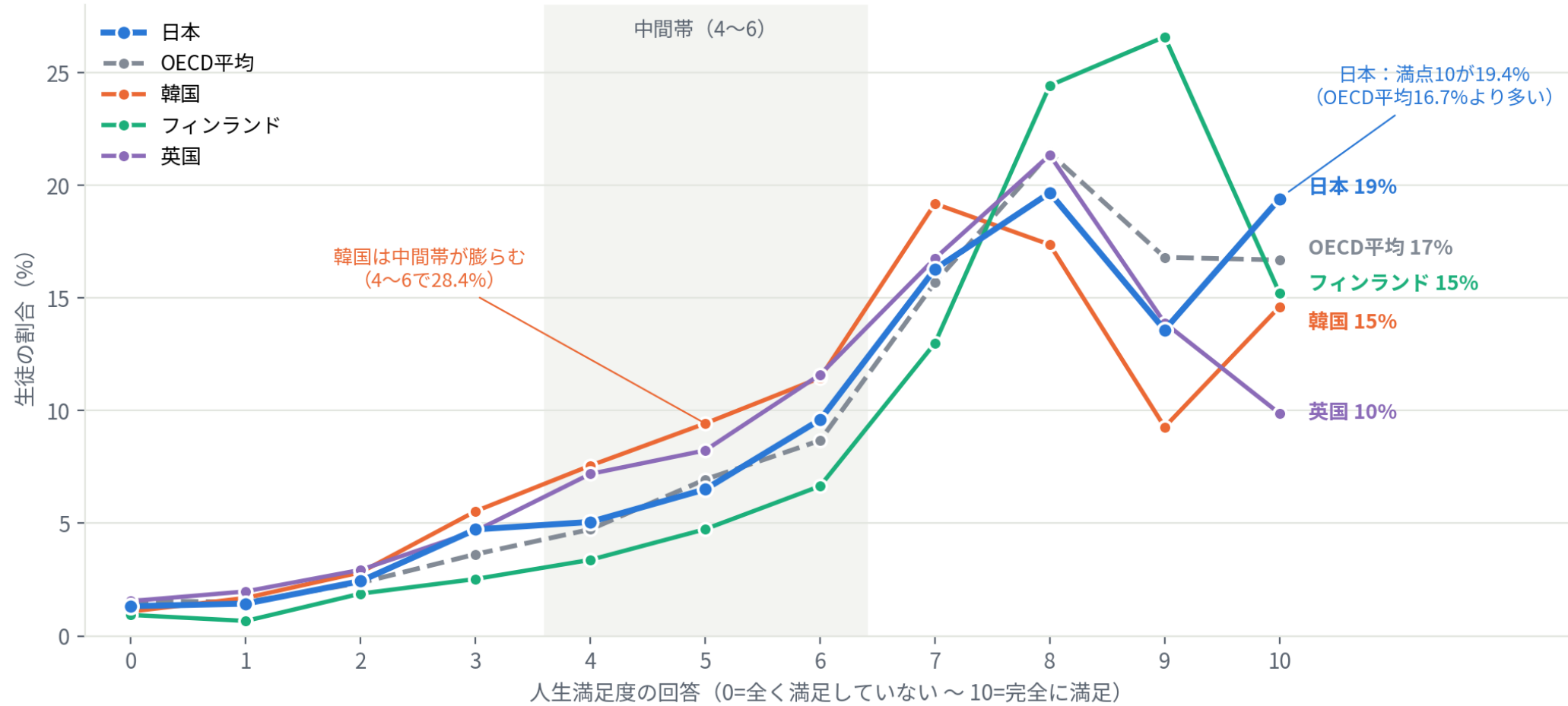
子どもの幸福度が世界一伸びた。
ことに対して、
自分のどんな行動が寄与できたか。を考える。
可能ならば、チャットに貼る。
小さなことでも大丈夫です！

STEP2

ブレイクアウトルームに分かれて、
STEP1の詳細を語る、
周りの方々も一緒にお祝いの声を出す。
やったね！ 良いね！ おめでとう！ ありがとう！
、など。
×全員分繰り返す。

ちなみに、大人だと真ん中に回答しがち傾向は子供にはなさそう

人生満足度（0～10）の回答分布：日本は「真ん中」に寄っていない



出典：OECD PISA 2025 Database, Table I.B1.3.79。米国・カナダ・豪州などは人生満足度の設問データなし（英国で代替）。中間帯4～6の合計：韓国28.4%・香港27.9%・台湾27.7% > 日本21.2% ≈ OECD平均20.3% > フィンランド14.8%。

集団での効力感

環境問題でも露呈する「みんなで」と「ひとりで」のギャップ

集合的環境効力感



(89か国中 10位)

「学校・地域社会は協力して環境問題を減らせる」への同意
82.1% (OECD 69.2%)

みんなでなら変えられる (高い信念)

環境自己効力感



(50位 - 平均並み)

「環境に良い影響を与えるために他の人とどう協働すれば
よいか知っている」への同意 48.2% (OECD 67.6%)

自分がどう動けばいいか知らない (低い方略)

その他項目 と 伸びしろ

能力は伸ばせると信じ、
決めた事はやり抜く。
必要に応じて助けも
求められる。
が、
好奇心を持って、
目標を立てて行動する
ことは少ない。
また、
いつもと違った環境に弱い。

成長マインドセット

9位/90カ国

粘り強さ
援助要請

30位/82カ国
44位/85カ国

好奇心
目標設定
認知的適応力

75位/87カ国
85位/85カ国
83位/83カ国

※認知的適応力

- いつもと違う状況にも対処できる
- ストレスや重圧の下でも様々な状況に適応できる
- 新しい文化にすぐなじめる
- 人間関係の難しい場面でも解決の道を見つけれられる

※目標設定

- 学習の進め方を計画する
- 知識の抜けを見つけるために自分でテストする
- 理解を確かめるために自分に問いを立てる
- 学習のやり方がうまくいかないと気づいたら変える

ちなみに、人生への満足度 TOP10

順位	国・地域	平均
1	アルバニア	8.64
2	カザフスタン	8.63
3	アルメニア	8.47
4	ウズベキスタン	8.23
5	サウジアラビア	8.16
6	ジョージア	8.04
7	ドミニカ共和国	8.01
8	インドネシア	8.01
9	クロアチア	8.00
10	メキシコ	7.99

幸せな教育で著名な国が入っていない。

ここらへんの国の教育も調べているが見えてこない。
(強いて言えば、
受験競争があまりない。)

知っている方が
いらっしゃったら
教えて下さい

章	構成概念 （日本語）	構成概念 （英語）	質問項目 （日本語仮訳）	集計の定義	日本 2015	日本 2018	日本 2022	日本 2025	OECD平均 2025	日本－ OECD	日本の順位（2025）	出典
第1章	社会移動への信念	Beliefs in social mobility	「社会の中での地位は、自分ではあまり変えられない」	「そう思わない」（＝変えられると信じる）の割合				55.9	66.4	10.5	59位（85か国中）	I.B1.1.3
第3章	好奇心	Curiosity	いろいろなことに好奇心がある	「あてはまる」の割合				62.6	73.5	10.9	78位（88か国中）	I.B1.3.1
第3章			ものごとの仕組みを知るのが好きだ	「あてはまる」の割合				59.1	74.0	14.9	88位（88か国中）	I.B1.3.1
第3章			自分は周りのたいいていの人より好奇心が強い	「あてはまる」の割合				46.3	53.5	7.2	80位（88か国中）	I.B1.3.1
第3章			新しいことを学ぶのは退屈だ（逆転項目）	「あてはまらない」の割合				68.2	57.3	10.9	3位（88か国中）	I.B1.3.1
第3章	粘り強さ	Perseverance	課題が終わるまで取り組み続ける	「あてはまる」の割合				68.8	60.5	8.3	19位（89か国中）	I.B1.3.9
第3章			課題が難しくなると、さらに努力する	「あてはまる」の割合				48.4	59.5	11.1	87位（89か国中）	I.B1.3.9
第3章			始めた課題は難しくなってもやり遂げる	「あてはまる」の割合				56.4	51.7	4.7	30位（89か国中）	I.B1.3.9
第3章			宿題が長すぎるとやめてしまう（逆転項目）	「あてはまらない」の割合				41.1	40.8	0.3	46位（89か国中）	I.B1.3.9
第3章	成長マインドセット	Beliefs in growth mindset	「知能は生まれつき決まっていて、自分では変えられない」	「そう思わない」（＝伸ばせると信じる）の割合				76.0	69.3	6.7	9位（90か国中）	I.B1.3.16
第3章			「理科の能力は生まれつき決まっていて、変えられない」	「そう思わない」の割合				73.7	68.8	4.9	10位（90か国中）	I.B1.3.16
第3章	科学の本質についての信念	Beliefs about the nature of science	良い答えは多くの異なる実験の証拠に基づく	「そう思う」の割合				91.2	82.2	9.0	5位（91か国中）	I.B1.3.30
第3章			実験によって仕組みの考えを得ることは科学の重要な一部だ	「そう思う」の割合				90.6	83.5	7.1	9位（91か国中）	I.B1.3.30
第3章			一つの情報源の情報は他の信頼できる情報源で確かめるべきだ	「そう思う」の割合				88.8	83.5	5.3	11位（91か国中）	I.B1.3.30
第3章			科学者にも答えられない問いがある	「そう思う」の割合				91.3	81.5	9.8	2位（91か国中）	I.B1.3.30
第3章			新しい発見は科学者が真実と考えることを変える	「そう思う」の割合				92.8	83.9	8.9	2位（91か国中）	I.B1.3.30
第3章			科学研究より常識に頼るべきだ（逆転項目）	「そう思わない」の割合				50.7	57.3	6.6	51位（91か国中）	I.B1.3.30
第3章	認知的適応力	Cognitive adaptability	いつもと違う状況に対処できる	「とても／かなりあてはまる」の割合				24.9	50.0	25.1	83位（83か国中）	I.B1.3.40
第3章			ストレスや重圧の下でも様々な状況に適応できる	「とても／かなりあてはまる」の割合				26.0	54.5	28.5	83位（83か国中）	I.B1.3.40
第3章			新しい文化にすぐなじめる	「とても／かなりあてはまる」の割合				26.9	48.3	21.4	83位（83か国中）	I.B1.3.40
第3章			人間関係の難しい場面でも解決の道を見つけられる	「とても／かなりあてはまる」の割合				33.6	55.2	21.6	83位（83か国中）	I.B1.3.40
第3章	援助要請	Help seeking	よく分からないときは説明を求める	「そう思う」の割合				85.6	82.1	3.5	19位（85か国中）	I.B1.3.44
第3章			必要なときは先生に助けを求める	「そう思う」の割合				76.5	76.6	0.1	64位（85か国中）	I.B1.3.44
第3章			学習で困ったときは助けを求める	「そう思う」の割合				87.1	76.8	10.3	13位（85か国中）	I.B1.3.44
第3章			まず自分で懸命に考えてから助けを求める	「そう思う」の割合				48.4	78.4	30.0	85位（85か国中）	I.B1.3.44
第3章	目標設定（学習の計画）	Goal setting	学習の進め方を計画する	「よく／とてもよくする」の割合				20.6	37.2	16.6	85位（85か国中）	I.B1.3.49
第3章			知識の抜けを見つけるために自分でテストする	「よく／とてもよくする」の割合				21.4	34.7	13.3	85位（85か国中）	I.B1.3.49
第3章			理解を確かめるために自分に問いを立てる	「よく／とてもよくする」の割合				30.6	49.1	18.5	85位（85か国中）	I.B1.3.49
第3章			学習のやり方がうまくいかないと気づいたら変える	「よく／とてもよくする」の割合				30.2	44.3	14.1	85位（85か国中）	I.B1.3.49
第3章	理科学習の楽しさ	Enjoyment of science	科学のトピックを学ぶのはだいたい楽しい	「そう思う」の割合				58.6	60.4	1.8	67位（91か国中）	I.B1.3.53
第3章			科学のトピックに取り組んでいると幸せだ	「そう思う」の割合				49.3	55.5	6.2	80位（91か国中）	I.B1.3.53
第3章			科学の新しい知識を得るのが楽しい	「そう思う」の割合				64.4	65.7	1.3	69位（91か国中）	I.B1.3.53
第3章			科学について学ぶことに興味がある	「そう思う」の割合				54.7	61.2	6.5	81位（91か国中）	I.B1.3.53
第3章	理科の授業における認知的活性	Cognitive activation in science	新旧の科学トピックの関連を考えさせる	「半分超の授業で」の割合				40.8	20.5	20.3	6位（90か国中）	I.B1.3.57
第3章			難しくても挑戦し続けるよう励ます	「半分超の授業で」の割合				42.4	38.4	4.0	40位（90か国中）	I.B1.3.57
第3章			科学的事実の暗記を教える	「半分超の授業で」の割合				39.1	36.2	2.9	54位（90か国中）	I.B1.3.57
第3章			科学的原理の説明を求める	「半分超の授業で」の割合				38.6	34.0	4.6	39位（90か国中）	I.B1.3.57
第3章			実験のデザインの説明を求める	「半分超の授業で」の割合				41.7	27.9	13.8	14位（90か国中）	I.B1.3.57

章	構成概念 (日本語)	構成概念 (英語)	質問項目 (日本語仮訳)	集計の定義	日本 2015	日本 2018	日本 2022	日本 2025	OECD平均 2025	日本- OECD	日本の順位 (2025)	出典
第3章	学校への所属感	Sense of belonging	学校で友達がすぐできる	「そう思う」の割合	68.8	69.1	74.8	77.0	80.0	-3.0	81位 (91か国中)	I.B1.3.64
第3章			学校に居場所があると感じる	「そう思う」の割合	81.9	80.3	86.1	88.9	76.2	12.7	3位 (91か国中)	I.B1.3.64
第3章			他の生徒から好かれていると感じる	「そう思う」の割合	73.8	73.9	84.5	87.3	83.1	4.2	12位 (91か国中)	I.B1.3.64
第3章			仲間はずれにされていると感じる (逆転項目)	「そう思わない」の割合	88.1	87.5	93.7	96.0	84.6	11.4	1位 (91か国中)	I.B1.3.64
第3章			学校で場違いだと感じる (逆転項目)	「そう思わない」の割合	80.5	79.9	84.6	84.3	80.8	3.5	23位 (91か国中)	I.B1.3.64
第3章			学校で孤独を感じる (逆転項目)	「そう思わない」の割合	88.5	88.3	90.0	91.0	86.7	4.3	6位 (91か国中)	I.B1.3.64
第3章	学校 (教育) の価値についての	Attitudes towards school	学校は大人になる準備にほとんど役立っていない (逆転項目)	「そう思わない」の割合			77.3	75.9	51.4	24.5	3位 (90か国中)	I.B1.3.70
第3章			学校は時間の無駄だった (逆転項目)	「そう思わない」の割合			94.0	93.7	76.1	17.6	1位 (90か国中)	I.B1.3.70
第3章			学校は仕事に役立つことを教えてくれた	「そう思う」の割合			71.7	66.3	66.6	-0.3	61位 (90か国中)	I.B1.3.70
第3章	人生満足度	Life satisfaction	最近の生活全体にどのくらい満足しているか (0~10)	平均値	6.8	6.18		7.18	7.22	0.0	51位 (85か国中)	I.B1.3.79
第3章			(同上)	「満足」(7~10点) の割合	61.1	50.0		68.9	70.6	-1.7	55位 (85か国中)	I.B1.3.79
第4章	学業でのAI利用	Use of AI for schoolwork	読んだ文章の要約に使う	「全く／ほとんど使わない」の割合				64.9	32.4	32.5	1位 (85か国中)	I.B1.4.53
第4章			新しいテーマの下調べに使う	「全く／ほとんど使わない」の割合				68.6	28.9	39.7	1位 (85か国中)	I.B1.4.53
第4章			課題の文章の下書きに使う	「全く／ほとんど使わない」の割合				58.2	32.3	25.9	1位 (85か国中)	I.B1.4.53
第4章			学習の手助けに使う	「全く／ほとんど使わない」の割合				43.8	20.7	23.1	1位 (85か国中)	I.B1.4.53
第4章	デジタル機器での余暇活動 (平	Leisure activities on digital di	ゲームをする	「1日3時間以上」の割合				22.5	24.5	-2.0	33位 (44か国中)	I.B1.4.37
第4章			SNSを見る	「1日3時間以上」の割合				27.9	38.7	-10.8	43位 (44か国中)	I.B1.4.37
第4章			ネットを楽しみで見る (ニュース・音楽・動画等)	「1日3時間以上」の割合				27.0	28.0	-1.0	29位 (44か国中)	I.B1.4.37
第4章			SNS等でやり取り・投稿する	「1日3時間以上」の割合				18.2	26.2	-8.0	43位 (44か国中)	I.B1.4.37
第4章			自分のデジタルコンテンツを作る・編集する	「1日3時間以上」の割合				7.3	14.4	-7.1	43位 (44か国中)	I.B1.4.37
第4章	理科の授業での教員のサポート	Teacher support in science le	先生は一人ひとりの学習に関心を示す	「毎回／たいていの授業で」の割合	63.4			83.7	68.8	14.9	22位 (84か国中)	I.B1.4.113
第4章			必要なときに追加の助けをくれる	「毎回／たいていの授業で」の割合	75.7			88.5	72.8	15.7	7位 (84か国中)	I.B1.4.113
第4章			生徒の学習を助けてくれる	「毎回／たいていの授業で」の割合	76.5			89.3	75.1	14.2	13位 (84か国中)	I.B1.4.113
第4章			生徒が理解するまで教え続ける	「毎回／たいていの授業で」の割合	69.1			83.7	66.3	17.4	12位 (84か国中)	I.B1.4.113
第4章			意見を述べる機会をくれる	「毎回／たいていの授業で」の割合	53.0			73.4	70.4	3.0	48位 (84か国中)	I.B1.4.113
第4章	家庭のサポート	Family support	学校での成績について話す	「週1回以上」の割合			56.7	50.3	60.3	-10.0	60位 (90か国中)	I.B1.4.120
第4章			学校での困りごとについて話す	「週1回以上」の割合			35.3	30.9	46.5	-15.6	88位 (90か国中)	I.B1.4.120
第4章			学んでいる内容に関心を持つ	「週1回以上」の割合			47.6	45.0	57.9	-12.9	79位 (90か国中)	I.B1.4.120
第4章			進路について話す	「週1回以上」の割合			35.4	33.0	52.1	-19.1	90位 (90か国中)	I.B1.4.120
第4章			その日学校で何をしたか尋ねる	「週1回以上」の割合			69.4	64.4	71.2	-6.8	43位 (90か国中)	I.B1.4.120
第4章	理科の授業の規律的雰囲気	Disciplinary climate in scienc	生徒が先生の話を聞かない	「全く／ほとんど起きない」の割合	49.5			60.8	23.2	37.6	2位 (85か国中)	I.B1.4.132
第4章			騒がしく無秩序になる	「全く／ほとんど起きない」の割合	55.3			65.8	23.8	42.0	2位 (85か国中)	I.B1.4.132
第4章			静かになるまで先生が長く待つ	「全く／ほとんど起きない」の割合	63.9			77.6	35.2	42.4	1位 (85か国中)	I.B1.4.132
第4章			生徒がうまく学習に取り組めない	「全く／ほとんど起きない」の割合	49.8			54.6	39.5	15.1	5位 (85か国中)	I.B1.4.132
第4章			授業が始まってなかなか取りかからない	「全く／ほとんど起きない」の割合	62.9			74.3	38.0	36.3	2位 (85か国中)	I.B1.4.132
第4章			デジタル機器で気が散る	「全く／ほとんど起きない」の割合				74.1	39.2	34.9	2位 (85か国中)	I.B1.4.132

章	構成概念 （日本語）	構成概念 （英語）	質問項目 （日本語仮訳）	集計の定義	日本 2015	日本 2018	日本 2022	日本 2025	OECD平均 2025	日本－ OECD	日本の順位（2025）	出典
第4章	いじめの経験	Exposure to bullying	からかわれた	「月に数回以上」の割合	17.0	13.8	9.8	13.7	13.8	-0.1	低い方から54位（91か国中）	I.B1.4.138
第4章			脅された	「月に数回以上」の割合	2.5	2.3	1.0	1.8	4.0	-2.2	低い方から6位（91か国中）	I.B1.4.138
第4章			叩かれたり押されたりした	「月に数回以上」の割合	8.9	5.9	3.6	5.4	4.9	0.5	低い方から54位（91か国中）	I.B1.4.138
第4章			嫌なうわさを流された	「月に数回以上」の割合	6.1	5.3	2.8	3.8	8.6	-4.8	低い方から2位（91か国中）	I.B1.4.138
第4章			嫌な情報をネットに投稿された	「月に数回以上」の割合				1.1	3.2	-2.1	低い方から1位（89か国中）	I.B1.4.138
第5章	環境意識	Environmental awareness	温室効果ガスの増加	「説明できる」の割合	58.9			58.3	57.2	1.1	29位（90か国中）	I.B1.5.6
第5章			核廃棄物	「説明できる」の割合	35.9			37.3	45.5	-8.2	61位（90か国中）	I.B1.5.6
第5章			森林伐採の影響	「説明できる」の割合	59.3			66.0	67.2	-1.2	43位（90か国中）	I.B1.5.6
第5章			動植物の絶滅	「説明できる」の割合	62.2			63.9	75.0	-11.1	69位（90か国中）	I.B1.5.6
第5章			水不足	「説明できる」の割合	44.9			51.5	68.0	-16.5	86位（90か国中）	I.B1.5.6
第5章			プラスチック汚染の影響	「説明できる」の割合				74.5	76.1	-1.6	41位（90か国中）	I.B1.5.6
第5章	環境自己効力感	Beliefs in capacity to generat	環境に良い影響を与えるための協働の仕方を知っている	「そう思う」の割合				48.1	67.6	-19.5	90位（90か国中）	I.B1.5.11
第5章			自分にできることがあると知っている	「そう思う」の割合				84.9	81.3	3.6	19位（90か国中）	I.B1.5.11
第5章			人々が協力すれば環境問題は解決できる	「そう思う」の割合				83.2	82.3	0.9	48位（90か国中）	I.B1.5.11
第5章			地球環境を大切にすることは自分にとって重要だ	「そう思う」の割合				85.6	75.1	-10.5	14位（90か国中）	I.B1.5.11
第5章	集合的環境効力感	Beliefs in collective environm	学校・地域社会は地球環境問題に良い影響を与えられる	「そう思う」の割合				82.1	69.2	-12.9	10位（90か国中）	I.B1.5.18
第5章			地域と協働すれば環境に良い影響を与える役割を果たせる	「そう思う」の割合				84.9	72.8	-12.1	9位（90か国中）	I.B1.5.18
第5章			地域と協働すれば化石燃料の使用を減らせる	「そう思う」の割合				68.6	62.7	-5.9	34位（90か国中）	I.B1.5.18
第5章			学校と協働すればエネルギー消費を減らせる	「そう思う」の割合				74.2	67.9	-6.3	28位（89か国中）	I.B1.5.18
第5章	環境関連活動への参加	Participation in environment-	環境問題に関する平和的なデモ・集会への参加	「経験あり（1回以上）」の割合				4.7	22.1	-17.4	89位（89か国中）	I.B1.5.24
第5章			環境問題への懸念をSNSに投稿	「経験あり（1回以上）」の割合				5.0	23.0	-18.0	89位（89か国中）	I.B1.5.24
第5章			持続可能性を基準に商品を選ぶ	「経験あり（1回以上）」の割合				45.0	54.3	-9.3	81位（90か国中）	I.B1.5.24
第5章			環境負荷を減らすため特定の食品を控える	「経験あり（1回以上）」の割合				19.4	39.7	-20.3	90位（90か国中）	I.B1.5.24
第5章			友人・家族と環境への良い影響について話す	「経験あり（1回以上）」の割合				39.3	55.6	-16.3	90位（90か国中）	I.B1.5.24

何が15歳の幸せに効くのか？～予選：相関係数～

- ・学校への所属感、が群を抜いて、幸せに効く。
- ・他にも、教師サポート、認知的適応力、自己制御、粘り強さが効く。
- ・モノの豊かさ/社会経済的背景は、幸せにほぼ影響無し。

変数（生徒質問紙由来の指数等）	r	n
学校への所属感	+0.43	6261
教師サポート（理科）	+0.21	6148
認知的適応力	+0.20	6203
自己制御	+0.20	6211
粘り強さ	+0.19	6237
ICT アクセスの質	+0.16	6155
規律（理科授業）	+0.14	6172
家庭サポート	+0.14	6235
集合的環境効力感	+0.14	6184
環境自己効力感	+0.13	6192
認知的活性化（理科）	+0.13	6037
目標設定（学習方略）	+0.12	6197
理科学習の楽しさ	+0.11	6141
好奇心	+0.11	6233

変数（生徒質問紙由来の指数等）	r	n
問題解決の楽しさ	+0.09	6206
科学の協働的推論	+0.09	6026
オンライン情報の確認実践	+0.09	6078
ICT を通じた支援・フィードバック	+0.08	6129
ICT が会話の話題になる度合い	+0.08	6098
授業での環境学習機会	+0.07	6084
科学の本質についての信念	+0.06	6166
授業外の学校活動での ICT 利用	+0.06	6132
科学自己効力感	+0.04	6196
AI 利用（学校）	+0.04	6224
家庭の所有物（モノの豊かさ）	+0.04	6302
科学実践への従事	+0.04	6061
学校の ICT 規制への肯定的見方	+0.03	6138
デジタル学習への興味	+0.03	6098
環境活動参加	+0.02	6180
学校での ICT 利用可能性	+0.02	6141
社会経済文化的背景（ESCS）	+0.02	6182
ICT 活動頻度（平日）	+0.01	6152
ICT 活動頻度（週末）	+0.01	6130
家庭での ICT 利用可能性	-0.00	6143
ICT への興味	+0.00	6113
数学得点（PV1）	+0.00	6312
環境意識	-0.01	6238
科学得点（PV1）	-0.02	6312
読解得点（PV1）	-0.02	6312
女子（ダミー）	-0.03	6312
いじめ被害	-0.16	6270

※PISA2025は科学リテラシーが主題なので、理科の質問多め

※自己制御：学習の後に、学んだ事を振り返る。先生などからのフィードバック。

※認知的活性化：難しくても挑戦し続けるよう励ます、など。授業が活性化してるか

※ICTアクセスの質：学校内でのインターネット環境など

何が15歳の幸せに効くのか？～決勝：重回帰～

※主要項目にて、重回帰分析：他項目の影響を除いた、幸せへの影響。

- ・所属感はここでも超重要項目であった。家庭サポートの影響が大きい。
- ・目標設定/好奇心は伸びしろではあるが、影響は大きくはない。
- ・世界と比べると、所属感の影響がかなり大きい。
- ・世界と比べると、社会経済的背景(≡お金)は世界では僅かに効くが、日本では影響無し

変数	日本 β	p値	全参加国プール β
所属感	+0.35	0.000	+0.21
いじめ被害	-0.09	0.000	-0.11
家庭サポート	+0.09	0.000	+0.12
認知的適応力	+0.07	0.000	+0.02
粘り強さ	+0.06	0.000	+0.05
自己制御	+0.04	0.001	+0.05
教師サポート	+0.04	0.004	+0.07
科学得点	-0.04	0.001	-0.08
女子ダミー	-0.03	0.009	-0.07
好奇心	-0.03	0.040	-0.03
理科の楽しさ	+0.03	0.055	+0.03
規律(理科)	+0.02	0.063	+0.04
目標設定	+0.01	0.572	+0.04
社会経済的背景	-0.00	0.947	+0.03

表4 生徒個人レベルの標準化重回帰：日本 (n=5,752、 $R^2=.22$) と全参加国プール (n=324,204、 $R^2=.17$)。
p値は日本モデルの値

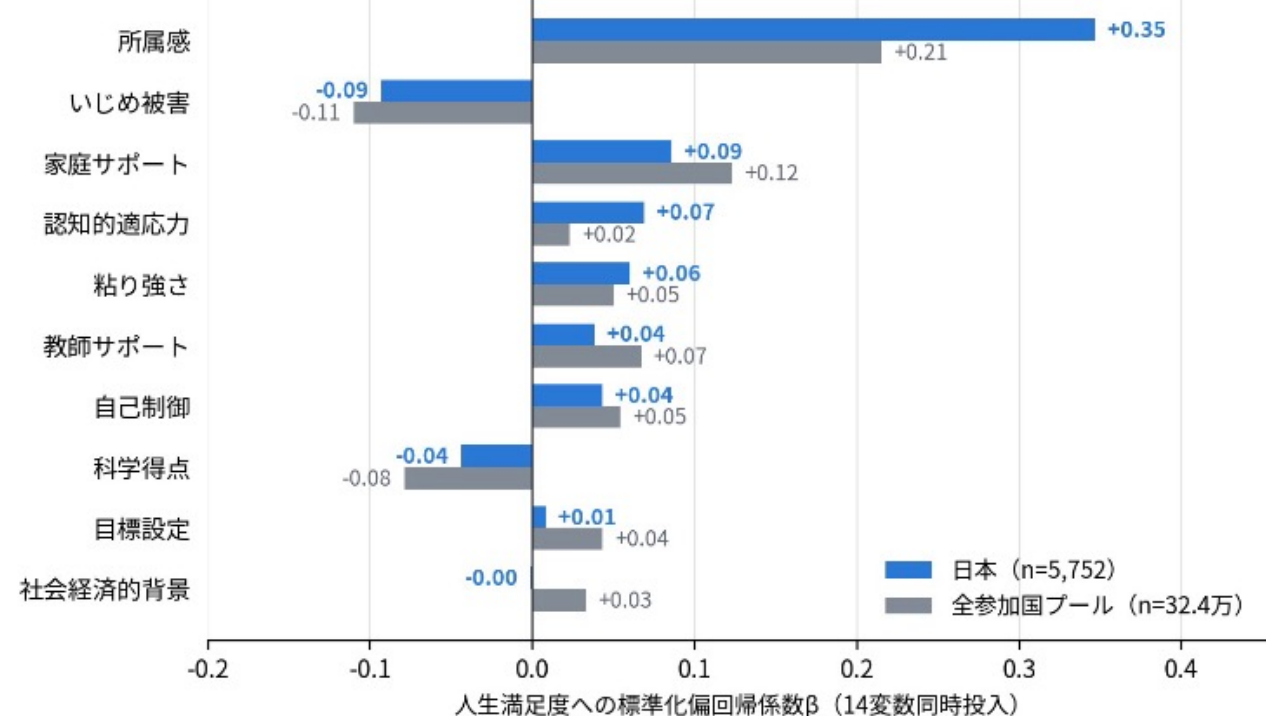
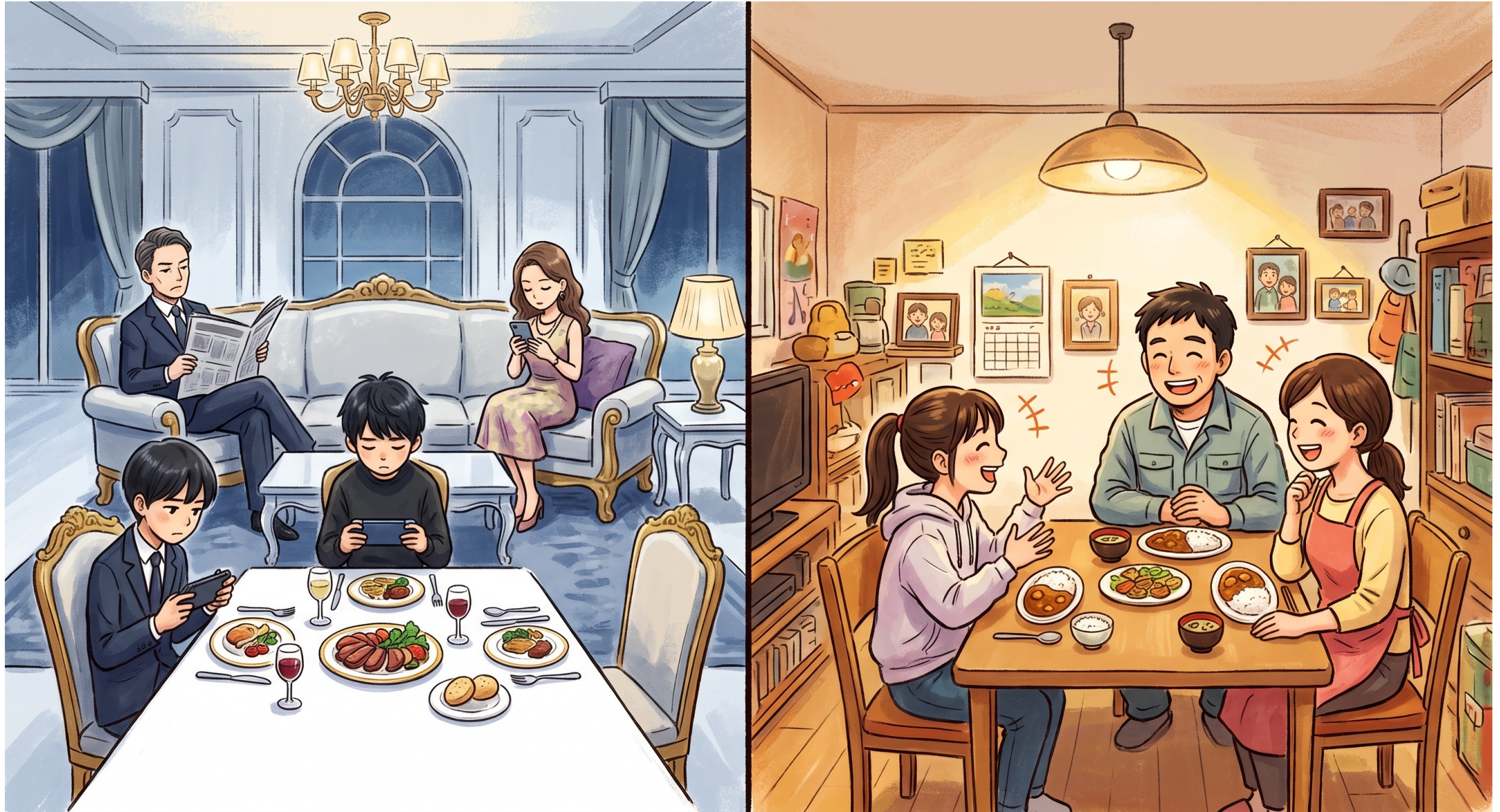


図2 標準化偏回帰係数 β の比較 (主要 10 変数)：日本 vs 全参加国プール

ステレオタイプな絵だが、日本だと割とあっているかも。



※ただし、家庭での会話は幸せアップ。家の豊かさは幸せに関係無い。ので、お金があって家庭での会話もある、家庭とかも幸せ。

PISAデータ分析資料はこちらからも

■ ウェルビーイングスコアの話
日本の15歳のウェルビーイングが凄すぎる！
PISA2025より。

<https://archive.happytech.co.jp/posts/2026-09-09-1788925440/>

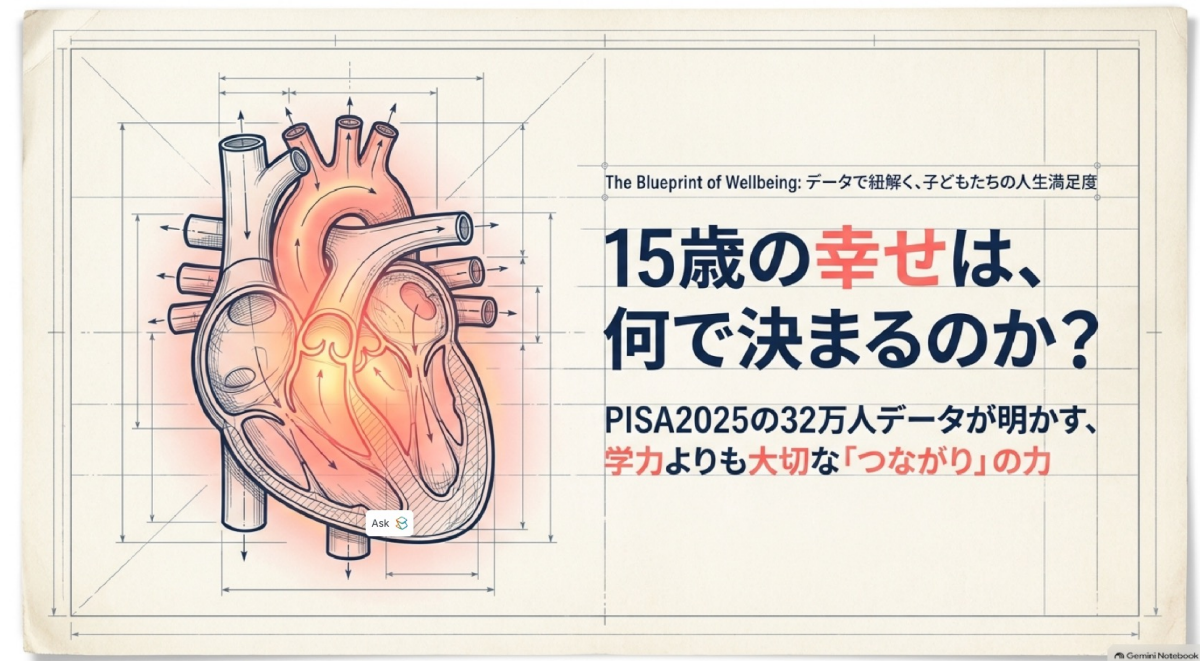
■ ウェルビーイングと他項目のつながりの話
何が15歳のウェルビーイングにつながるの？
～これから目指すべきは家庭サポート、認知的適応力の向上～

<https://archive.happytech.co.jp/posts/2026-09-10-1789015920/>

PISA 2025が暴く「新しい日本の15歳」
「高学力・低満足」の終焉と、次なる死角

PISA 2025 結果 (Volume I) に基づくウェルビーイングと主体性のデータ分析

Gemini Notebook



さらに幸せな子ども達を増やすには？

**日本の子どもたちの
幸福度をさらに
高めて行くには、
どんなことが
できそうですか？**

STEP1

考えて、可能ならば、チャットに貼る。
小さなことでも大丈夫です！

STEP2

ブレイクアウトルームに分かれて、
STEP1の詳細を語る、
×全員分繰り返す。

2025年以降の 興味深い研究

2025年以降の興味深い研究

- ①全国学力・学習状況調査の幸せ
→心理的安全性の項目が今年から追加
- ②TAILS2024(先生の幸せOECD調査)
- ③2025年以降の主要な研究100

全国学力・学習状況調査



全国学力・学習状況調査の幸せ～小6・中3の幸せ～

<https://archive.happytech.co.jp/posts/2026-09-26-1790414280/>

全国学力・学習状況調査 心理的安全性

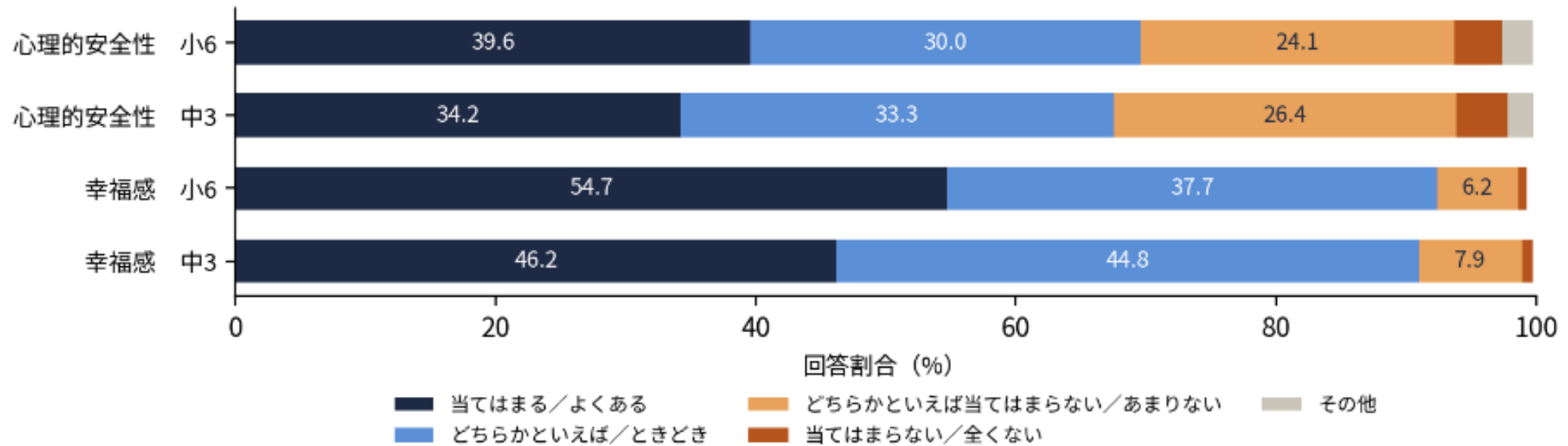


図4 心理的安全性（20）と幸福感（21）の回答分布。心理的安全性は5選択肢のため他項目と単純比較はできない。出典：調査結果資料【全国版】回答結果集計

※心理的安全性の質問
あなたの学級では、人と違う意見を言っても
否定されないと思いますか

心理的安全性と相関が高いのは、
「周りの人と協力して課題に取り組む」（小.33／中.35）、
「学級活動で意見のよさを生かして解決方法を決める」（.30／.36）、
「先生はよいところを認めてくれる」（.32／.33）、
「先生は分かるまで教えてくれる」（.30／.31）で、
幸福感（.30／.31）よりも教師の行動と学級活動の質が上位に来る。

全国学力・学習状況調査 心理的安全性

質問事項	相関係数
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	0.325
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	0.316
学校に行くのは楽しいと思いますか	0.308
友達関係に満足していますか	0.301
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	0.298
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	0.297
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	0.296
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	0.295
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	0.294
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	0.289
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	0.287
自分には、よいところがあると思いますか	0.265
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	0.259
5年生までに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	0.254
学習の計画の立て方や学び方が分かりますか	0.251

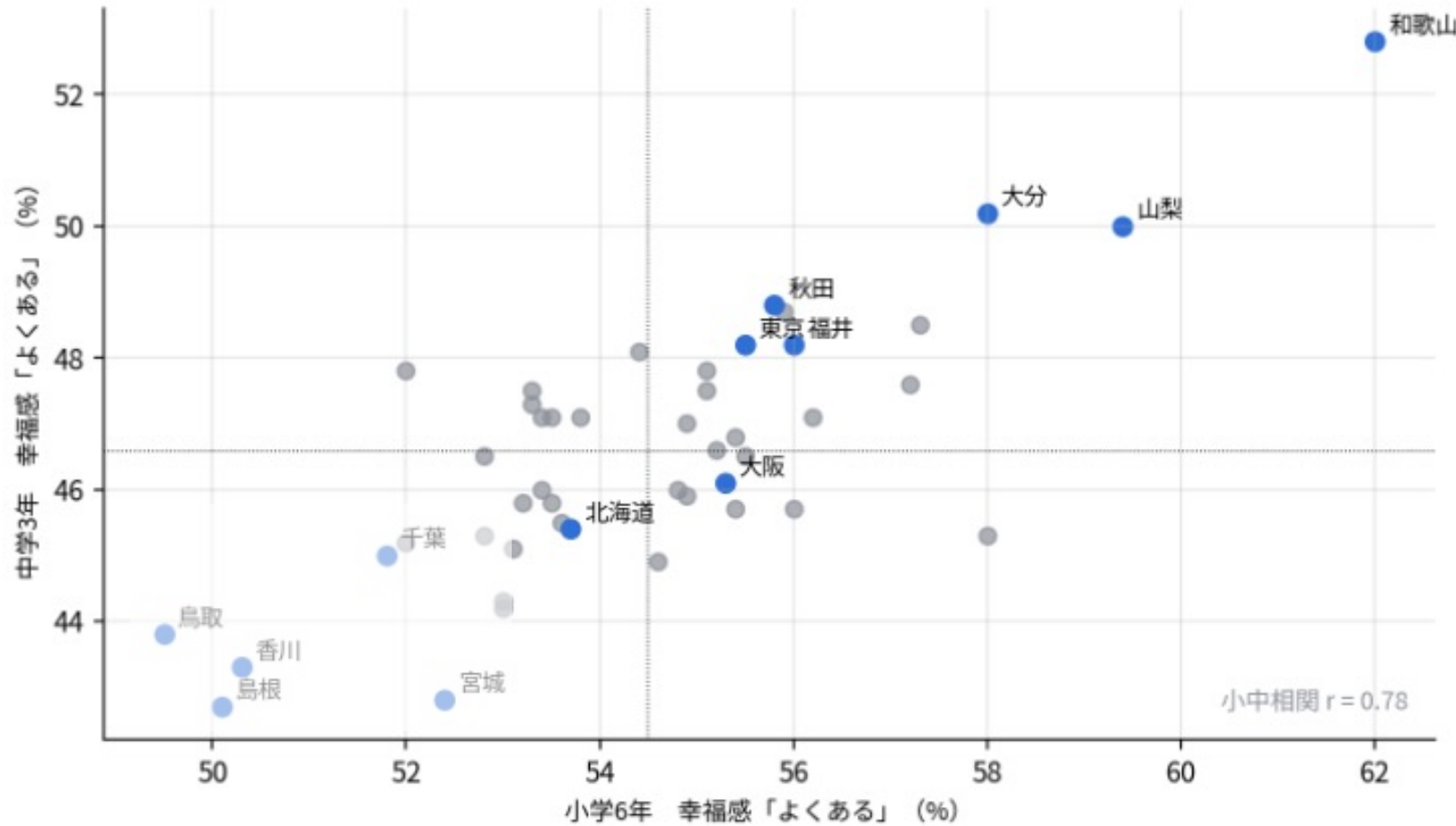
←小学6年生での
心理的安全性との相関

中学3年生での→
心理的安全性との相関

※心理的安全性の質問
あなたの学級では、人と違う意見を言っても
否定されないと思いますか

質問事項	相関係数
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	0.360
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	0.349
学校に行くのは楽しいと思いますか	0.344
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	0.331
友達関係に満足していますか	0.329
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	0.320
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	0.312
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	0.310
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	0.308
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	0.295
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	0.285
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	0.272
自分には、よいところがあると思いますか	0.270
1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか	0.265
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	0.262

全国学力・学習状況調査 都道府県別



和歌山の方、
なんでこんなに幸せなのか、
教えてください！

※**和歌山の特長**
幸福感・学校楽しい・友達満足・相談できる大人が1位
だが自己肯定感19位・将来の夢38位という
「居場所型」

図5 都道府県別 幸福感「よくある」の割合：小6×中3（R7、指定都市含む・公立、点線は47県平均）。出典：令和7年度 都道府県・指定都市別 回答結果集計

9/30(4日後)に令和8年版が
公開される予定。

TAILS2024 (先生の幸せOECD調査)

「世界一忙しい」の奥にある、本当のSOS。

データが明かす日本の中学校教員のウェルビーイングと「見えない消耗」



OECD TALIS 2024 データ再分析レポートより

Gemini Notebook

OECD TALIS 2024-先生の幸せ-

<https://archive.happytech.co.jp/posts/2026-09-26-1790414520/>

2025年以降の主要な研究100

教育×ウェルビーイングの現在地

データが明かす「直感」と「事実」のズレ

2025-2026年の世界の大規模調査が告げる、教育アプローチの大転換

Gemini Notebook

最近の教育×ウェルビーイング研究100 ～2025-2026～

<https://archive.happytech.co.jp/posts/2026-09-26-1790413980/>

おわりに

日本の先生をはじめ、
教育関係者の方々は、凄まじいです。
これまでやってきて頂いたことは、
間違いなく大きな成果をあげています。
直近の成果を味わいつつ、
継続・向上を願います。

また、先生自身の幸せも大切に。
(先生が幸せだと子どもも幸せ。)